

播磨町海のふれあい事業【はりまの海 きっず チャレンジ2025】報告書

開催日	2025年（令和7年） 10月18日（土）
開催場所	播磨フィッシュアリーナ
対象者	播磨町小学4～6年生：播磨（12人）・播磨南（15人）・播磨西・蓮池小（14人）
主催者	播磨町（担当部署：土木課）
事務局	いずみさの関空マリーナ
協力	播磨町漁業協同組合・加古川海上保安署・海藻おしば協会
海藻万華鏡担当	海藻おしば協会（前田ゆきみ・佐藤真理・高山優美）

【概要】

今年で6回目となる『はりまの海 きっず チャレンジ』は、2025年5月17日（土）に予定されていたが、悪天候のため中止となった。佐伯町長の「播磨町の子どもたちが笑顔になる体験をさせたい」という熱い思いもあり、再度予備日を設け日程を調整し10月に変更となった。5月に参加予定だった児童が10月に参加となる。10月にこのイベントを実施することは初めてであったが、この時期ならではの気づき（日没時間の影響など）がある機会となった。この日は、播磨町の他の行事（運動会・祭り）と重なり当初の予定より参加者数は減った。しかし、参加した児童の元気に笑顔の時間を過ごした。

【イベントの流れ】

午前・午後と、4班を大きく2グループにわけ、乗船体験（45分）チームと海藻万華鏡教室（45分）チームを交互に経験。その後、加古川海上保安署の海の安全講習・播磨町漁協の協力のもとタッチプールで生き物に触れ合う時間を過ごした（下記の図 参照）。

「午前の部」		A班	B班	C班	D班	
	27名	播磨小 7名	播磨小 5名	播磨南小 7名	播磨南小 8名	
	引率者	魚住	吉津	前田	下岩	
9:00 ~ 9:30	受付	※救命胴衣着用（※閉会式まで常時着用）マスクの着用は任意				(30分)
9:30 ~ 9:45	開会式	テント内 開会式終了後、班ごとに集合（イベント終了まで、班ごとに団体行動をお願いします）				(15分)
9:45 ~ 10:00	記念撮影	渡り橋先の棧橋で参加者全員で記念撮影				(15分)
10:00 ~ 10:45	体験イベントI	播磨の海 体験クルージング		海藻万華鏡作り体験		(45分)
		HERMONY 1（定員12名） みどりIV（定員9名）	D（北側）棧橋先端から乗船		テント内	
		※トイレ休憩（10:35～10:45）				
10:45 ~ 11:30	体験イベントII	海藻万華鏡作り体験		播磨の海 体験クルージング		(45分)
		テント内	HERMONY 1（定員12名） みどりIV（定員9名）	D（北側）棧橋先端から乗船		
		※トイレ休憩（11:20～11:30）				
11:30 ~ 12:00	海の安全講習	D（北側）棧橋				(30分)
12:00 ~ 12:15	閉会式	テント内 アンケート記入後、お土産を受け取り解散				(15分)

『午後』

各体験教室の時間配分は午前同様に実施

開会式

↓

海の安全講習

↓

海藻万華鏡

↓

乗船体験

↓

閉会式

【当日の様子・内容】

参加者が来る前の時間帯に雨が降り、ワークショップの場所や船乗り場のスロープが濡れるなど晴天時より注意点が増える中でのスタートとなった。

午前・午後と開会式は、播磨町土木課小林氏による全体司会で進行、播磨町長による開始の挨拶が行われた。

播磨町長は「学校での学びも大切であるが、今回の体験を楽しんでいろいろ学んで欲しい」という子どもたちへのメッセージと今回のイベントに関わる保護者、関係者に感謝の言葉を述べた。

その後いずみさの関空マリーナの小澤氏によるスケジュール案内が行われ全員ライフジャケットを着用し集合写真撮影後、それぞれの体験ブースに向かった。

加古川海上保安署職員2名による海の安全講座では、海の事故での緊急番号「118」について、膨張式ライフジャケットの説明、おぼれた人を助ける時の注意点、浮力のあるものを渡す時の注意点などを解説。

すべての体験が終わってからアンケートを記入し、お土産袋をもらい解散となる。

午後の回は、キャンセルもあり2班編成に変更し参加者14人全員で安全講習、海藻万華鏡体験、乗船体験という流れで臨機応変の対応で無事イベントは終了となった。

※海藻おしばスタッフが、前日に海藻万華鏡キットの確認不足で、朝の準備の時点で海藻万華鏡のキットがないことに気づき、関空マリーナの即時の対応に午前中、最初の海藻万華鏡時間には、特別プログラム（海藻おしば協会高山撮影の水中写真による海の生き物クイズ・海藻クイズ）で海洋環境学習を実施、時間内に工作は出来なかったが、参加者が帰るまでにはキットが届いたため工作をして解散の児童や作ったことがあるので自宅で作るという参加者もいた。

【写真で見る当日の様子】



スタッフ打ち合わせ。播磨町山口氏より当日のスケジュール等確認



参加者対応
受付順次開始



播磨町漁協による水槽には、タコやエイ・フカ（サメ）など



開会式前のタッチプールは、大人気。生き物の感触を楽しみ笑顔があふれた



播磨町小林氏による司会進行で開会式が始まる



佐伯町長による挨拶。参加者に思い切り楽しみもう！という言葉に子どもたちの目が輝く



IWFの小澤氏よりスケジュールの案内がされた後、各班に分かれて行動となる



海辺のアクティビティには救命胴衣は必須。海の安全面も含め体験



参加者・佐伯町長・グループリーダー関係者で集合写真。楽しい一日の始まりです

【乗船体験】 乗船中の注意事項の説明を受けいざ出発！



HERMONY1の上いきたい！！下の階の操船席に座りたい子も多かった

ここ触っても大丈夫？など確認しながら触ったりしている様子もあった。

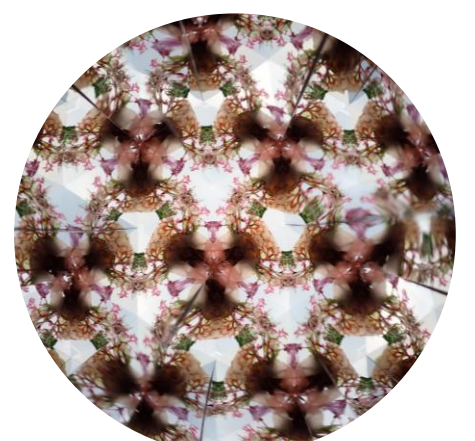


みどりⅣの船首が毎回大人気



【海藻万華鏡作り】 海の環境の事を学ぶためのワークショップ

海藻おしば協会認定講師による映像やクイズで海の森の大切さのお話を聞き、実際に海藻に触り万華鏡キットを組み立て世界で1つのオリジナル万華鏡を作った。



参加者同士自分で作った万華鏡を見せあいながら「きれい！」「私のが一番きれいだと思う！」「すごいのできたね！」と仲間同士、賞賛しあう様子が何とも楽しいそうであった。

【加古川海上保安署による海の安全講習】



海上保安の仕事内容、海の緊急時の連絡先「118」、膨張式救命胴衣体験、おぼれた人への対応や注意事項など海の安全に関して学ぶ



午前の部



午後の部

全ての体験が終了後にアンケートを記入。お土産セットがプレゼントされ閉会となった



盛りだくさんの中身



【はりまの海 きっず チャレンジ2025 編集後記】

海藻おしば協会が新体制になり、初めての播磨の海きっずチャレンジであった。以前の事務連絡等のようにすればよいか不明な点も多かったが、IWFの小澤様には随時確認し当日を迎える事が出来た。ただ、前日に万華鏡キット確認不足で大変ご迷惑をおかけしましたが関空マリーナスタッフの皆様の連携により午前の2回目の講座から工作体験が行えた。次回は、このようなことが無いように講座内容を前日に道具を出して流れを共有していく。

播磨西小学校では、ここ数年3年生の授業で海洋環境学習としての海藻万華鏡講座を実施していたため、参加者の中には、経験者がいた。また昨年もきっずチャレンジに参加した児童もいた。

このイベントは、非日常的な乗船という体験があり、生き物に触れ合うタッチプール（放流体験は、対象魚がないため無しであった）、海的环境について学ぶ海藻おしば協会による環境学習、海の安全に関する知識を学ぶ素晴らしい内容となっている。

次回は、今回の気づきも踏まえ海洋環境の大切さを伝える海藻おしば協会のワークショップの工作体験部分は、毎年同じ工作はなく、海藻おしば、海藻万華鏡、海藻のキーホルダー（UVライト使用）作りなど交互に行うなど2年連続で参加している児童が違った経験が出来る様にしたいと考えている。

子どもたちの笑顔のために実施されている盛りだくさんの体験教室という機会に、私達海藻おしば協会としても協力させて頂き大変感謝しています。

【報告：高山 優美】